

# TOPICS

## マツギガン外相が来日 日加、多国間問題を協議

第二回日加外相定期協議に出席するため、マツギガン外務大臣が十一月中旬、園田外相の招きで来日、二日間にわたって二国間および多国間の諸問題について意見を交わした。



園田外相の歓迎を受けるマツギガン外務大臣。

席上、マツギガン大臣は①日本はカナダからの工業製品および加工品の輸入を増やして欲しい②カナダは日本に対する天然資源の安定供給を図るつもりであるが、日本も木材、水産物、金属などの分野で市場をもっと開放してもらいたい③日本が米国、欧州に対して

行っている黒字減らしは、カナダに悪影響がないようにして欲しい④カナダの外資法は外資を除外するためのものではなく、投資する側にとっても、またカナダ国民にとっても利益があるようにするというのが目的——などとカナダの政策や立場を説明した。

多国間の問題では、東西関係、南北関係、軍縮、朝鮮半島、中国、カンボジア、環太平洋などについて協議、多くの点で意見の一致を見た。

日加外相定期協議は、一昨午カナダを訪問した故大平首相とトルドー首相との会談で設置が決まったもので、第一回協議は昨年七月、オタワで開かれた。

## 秋田と北陸にカナダ協会 経済・文化交流を促進

東京、関西、北海道に続いて、秋田県と北陸にもカナダ協会が誕生した。

秋田では、積雪寒冷地同士として、またカナダの亜鉛鉱や木材チップ、建築材などを通じた経済交流、そして大学のカナダ研究などに加えて、郷土出身の須磨末千秋氏が駐加大使として赴任していたこともあって、カナダへの関心が高まっていた。そこで昨年八月

五日、「秋田・カナダ友好協会」を設立、秋田県とカナダの経済・文化交流をさらに促進して国民同士の相互理解を深めることになったもの。会長には、秋田商工会議所の松本修士会頭が就任した。

また北陸でも、気候風土が似ていることや、カナダの森林資源、穀物が北陸に輸入され、北陸からは電子部品などが輸出されているといったこれまでの関係をさらに発展させようと、十月三十日、富山県の経済人を中心に「北陸・カナダ協会」が設立された。会長は中橋甚一富山県議会議員。

## カナダ映画に金賞 日本の子供がテーマ

カナダ映画「Children of the Tribe」(カーレ・ラースン監督、サイコマディア制作)が、昨年十一月に行われた「日本紹介映画コンクール」で金賞を射止めた。

この作品は幼児期から少年期までの日本の子供の成長を描いたもので、「日本式育児」や学校での激しい競争を通じて、日本社会の特徴を紹介している。長さは三十分。

日本紹介映画コンクールは、日本映画海外普及協会と映像文化製作者連盟が主催し、外務省と朝日新聞社が後援している。

また、アルバータ教育放送協会が制作したラジオ番組「ガラガラへび」が、NHK主催の教育番組国際コンクール「日本賞」の優秀

番組賞に選ばれた。

## 駐加日本大使に御巫氏

須磨末知秋駐加日本大使の後任に、外務省研修所長の御巫清尚氏(写真)が就任した。



御巫氏は三重県出身で、昭和十八年外務省に入り、在英大使館一等書記官、在インドネシア大使館参事官、経済協力局長、大臣官房審議官、国際協力事業団理事、駐フィリピン大使などを歴任した。

## トロントーモントリオール間に カナダ製の高速列車LRC

カナダの全国鉄道旅客公社ピア(VIA)カナダは、トロントーモントリオール間の列車混雑を緩和するため、カナダ製の高速列車LRC(軽量・高速・快適)の導入を計画、昨年から試験的に運行を開始した。

LRC列車は、モントリオールのボンバルディエ社が中心となつて開発した純国産車両で、列車がカーブにさしかかると遠心力センサーが働き、客車が適度に傾いてバ

ランスをとるといふ車両傾斜技術を採用している。このため、カーブでもさほど減速する必要がなく、揺れが少ないため、乗り心地もよい。最高時速は約二百四十四キロだが、当面は約百五十二キロ、モントリオールートロント間を五時間て走る。

ピア・カナダでは、今後、ケベック市、ウインザー、オタワ、モントリオールなどの各都市間にLRCを導入していく予定だ。

また米国の鉄道旅客公社アムトラックでも、現在、LRCを試用中である。

## カナダの日本向けなたね キャノーラ種に切り換え

カナダから日本に輸出されるなたねの大部分が、一九八二年には健康に良い改良品種に切り換えられる見通しとなった。

これは昨年十一月四、五の両日、東京で開かれた第五回日加なたね協議でカナダ側(アームストロング通産省穀物流通局油糧種子課長)が明らかにしたもので、自然条件などが原因でこれまで新品種への移行が遅れていたアルバータ州でも切り換えが進んだ結果、今年の日本向け輸出は新品種が中心となり、一九八三年にはすべて新品種となる見通しだといふ。

輸入なたねは食用油、油かす(飼料)に使われるが、新品種(キャノーラ)は動物や人間に有害とさ